

ことばがけの  
**順番**

を変えるだけでうまくいく！！

# 「学童期のことばがけ」 3つのポイント

ことばがけコンサルタント  
**岸本 元気**



感情的になると  
手をつけられない



まったく話を聞かない



話しかけても  
無視されてしまう

「こどもとうまくいかない・・・」 そのお悩み「ことばがけ」で解決できます！

## ●メッセージ

はじめまして。僕は「親と子のメンタルヘルス研究所」で行動面で気になるこどもたちを専門とした「こども向け認知行動療法」を行っています岸本 元気と申します。日々の「学童保育の現場」では、「こどもが感情的になる場面」はよく見られます。「全く言うことを聞いてくれない」「無視される」「感情的になって手をつけられない」そんなとき、「自分は嫌われているんじゃないか」「なぜうまくいかないんだろうか」と悩んでしまったり、落ち込んでしまうこともきっとあるのではないのでしょうか？  
でも安心してください。それは「ことばがけ」の順番を変えるだけでうまくいくのです。



「学童期のことばがけ」を 【前編】ことばが入る公式 【後編】気になる子への対応 の2本に分けてお話しします。



## ■この研修で学べるもの

# 「脳が快になることばがけ」技術 です。

実際に日々、「うつ病等で不調を抱える保護者」のサポートや「気になる子の支援」を行う現場では、「相手にことばが入る状態」をどれだけ早く作ることができるかが、支援がうまくいくかどうかを左右する重要なポイントになります。 そのためにできる限り多くの「ことばがけ」を行っています。

その際の重要なポイントが、「脳を快にすることばがけ」です。

「ことばがけ」の上手な先生。実は「同じこと」をしています。

ことばが届きにくい先生	ことばが届きやすい先生
何もないときには 「ことばがけ」が少ない	何もないときにこそ 「脳が快になることば」 を多くかけている
	

「学童期のことばがけ」のポイント

それは、「脳」が「快」になるかどうか です。

「脳が快になる」ための「ことばがけの順番」をお話いたします。



## 岸本 元気 Genki Kishimoto

1967年3月生まれ（57歳）

保育ソーシャルワーカー（保育士・精神保健福祉士）

ことばがけコンサルタント

親と子のメンタルヘルス研究所所長・合同会社ソーシャルプラン代表



### メンタル不調の保護者に特化した「認知行動療法」を行う専門職

メンタル不調（うつ病、パニック障害など）を持つ保護者の子育て支援に特化し、『メンタル不調時の子育て支援の専門家』として、九州だけでなく全国からの問合せも多く、常に50名以上のサポートを行なっている。また発達面で気になる点を持つ子どもたちの生活サポートも実施。生活場面で使える「子ども向けの認知行動療法」をわかりやすく保護者に伝え、子どもと保護者に寄り添う支援を行っている。保育者研修では、「ことばがけ」や「保育ソーシャルワーク」「学童保育研修」「気になる子の対応」などをテーマに全国で研修、講演活動を行なっている。リピート依頼が圧倒的に多く、年間研修120本の90%以上がリピートで、1年以上前からの事前予約も多い。

これまで、児童養護施設指導員、保育士、学童保育指導員、精神科ソーシャルワーカー、スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザーなど保育士としての活動だけでなく、医療現場、学校現場、企業内など幅広い分野で「メンタルヘルスの専門家」としての活動経験を持つ。

#### ◎ 著書・連載

・チャイルド社「月間保育プラン」にて

『元気さんの親と子のこころをつなぐ24の方法』連載（2003年）

・明治図書出版 若手保育者の指導力アップ1

『子どもがすくすく成長する0・1・2歳児の魔法の言葉がけ』（明治図書出版）

・ベネッセ ひよこクラブ 2010年4月号

『やさしい心が育つにこにこ遊び始めよっつ』読み聞かせ・遊び指導

・ゆめのはこ 2011年6月号(25号)

『こんなとき、どうする？ママの話し方・聞き方、コミュニケーション術』

・明治図書出版

『子どものこころをグッとつかむ魔法のお話』（明治図書出版）

・風鳴舎

『保育士・幼稚園教諭のための保護者支援』 永野典詞・岸本元気

